

9 「ある日突然、大切な人がいなくなってしまったなら」

(北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権)

実践する場面

(1) 対象者 人権教育担当職員、行政職員、地域住民等

(2) 所要時間 85分

活動のねらい(ポイント)

アニメ「めぐみ」の視聴やグループ協議をとおして、北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権についての理解を深める。

準備するもの

DVD アニメ「めぐみ」、ワークシート、資料1～2

進め方(展開例)

時間	学習の流れ(活動・内容)	留意事項	備考(資料)
導入 15分	◆学習の確認(5分) ・研修会のねらい ・日程 ・参加体験型学習における約束 ◆アイスブレイキング(10分) 「なくなったら困ると思うもの」 ①グループ内で順番に自己紹介をするとともに、「なくなったら困ると思うもの」とその理由を発表する。(随時感想を述べたり質問をしたりしてよい。) ②振り返りを行い、感想を発表する。	・【参加体験型学習の約束】の内容を伝える。 →P9 ・4人程度のグループで行う。 ・お互いの発言を尊重するように促す。	
	・人はそれぞれ失いたくない人やもの、大切にしている思い出があり、誰も否定することができないことを確認する。		
展開 65分	◆アクティビティ(65分) 「拉致被害者の家族の心情に寄り添う」 ワーク1(10分) ①家族や大切な人が、突然いなくなったらどうするかを想像して書く。 ワーク2(40分) ①拉致問題の概要を知る。 ②アニメ「めぐみ」を視聴する。 ③被害者及びその家族の心情に思いを馳せ、拉致被害者の家族の気持ちを想像して書く。	・ワークシートを配付する。 ・拉致被害に限定せず、事故や災害など、想像の状況でよいことを伝える。 ・資料1をもとに、拉致問題の概要を説明する。 ・視聴環境が整わない場合を考慮する。 ・めぐみさんは1977年に拉致被害に遭い、家族が拉致だと知ったのはおよそ20	・ワークシート →P62 ・資料1 →P63 ・資料2 →P64

	④ワーク2についてグループで意見交換をする。 ⑤いくつかのグループが意見交換した内容を発表する。	年後の1997年であったこと、それから20年間以上経過して現在に至っていることを確認する。 ・北朝鮮当局への非難に主眼を置くのではなく、家族の心情に寄り添い、家族の心の痛みや辛い気持ちに共感できるようにする。 ・他の意見を聞くことで、深くその思いを知ることができるようにする。	
	・大切な人を失ってしまった人の気持ちに寄り添うことで、生きる勇気を生み出したり、新たな気づきを得て必要な配慮ができたりすることを知る。		
	ワーク3（15分） ①拉致問題について自分たちにどのようなことができるかを考えて書く。 （ワーク2を振り返りながら考える。） ②グループで意見交換し、全体で発表し、共有する。	・拉致被害者等の支援に関して国や地方公共団体に責務が課せられていることを押さえる。 ・ワーク2で出された意見や記述をもとにまとめる。	
まとめ 5分	◆まとめ（5分） まとめの話を聞く。	・活動のねらい（ポイント）を押さえる。	
	・拉致問題について、一人ひとりが問題を理解するとともに関心を高め、風化させないことが重要であることを理解する。		

＜参考資料など＞

「人権学習ワークシート集Ⅶ－人権教育実践事例・指導の手引き（高校編第16集）－」

神奈川県教育委員会（平成31年2月）

「人権学習ワークシート集－人権教育実践のために 第16集（小・中学校編）－」

神奈川県教育委員会（令和2年3月）

「アニメ『めぐみ』」

1977年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の模様を描いた25分のドキュメンタリー・アニメです。

<https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg1754.html>

<https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg20129.html>（短縮版）

<https://www.rachi.go.jp/>（政府拉致問題対策本部）



拉致被害者の家族の心情に寄り添う

ワーク1

- 1 ある日突然、あなたの家族や大切な人がいなくなってしまったなら、あなたは
どうしますか。

ワーク2

- 2 アニメ「めぐみ」を視聴し、拉致被害者の家族の気持ちを考えてみましょう。

(1) 拉致被害にあったことがわかるまでの20年間

(2) 拉致被害にあったことがわかってからの20年間以上（新たな試練）

ワーク3

- 3 拉致問題を風化させないために私たちにどのようなことができるかを考えてみ
ましょう。

※ 日本政府は、拉致被害者として17名を認め、さらに拉致の可能性を否定できないと考えて、
拉致被害者として認めたかどうかにかかわらず、全ての拉致被害者の安全を守りすぐに帰国で
きるよう全力を尽くすとしています。このため、「北朝鮮当局によって拉致された被害者等の
支援に関する法律」が定められ、国や地方公共団体のやるべきことが決められています。

北朝鮮当局(※)による日本人拉致問題Q & A

Q1 拉致問題って何ですか？

A1 1970 年代から 1980 年代にかけて、北朝鮮が、多くの日本人を連れ去りました。（拉致＝本人が望まないのに連れ去ること）

北朝鮮は、長年にわたり日本人拉致を否定していましたが、2002 年 9 月、金正日国防委員長（当時）は、小泉総理（当時）との会談において、初めて日本人拉致を認め、謝罪しました。しかし、拉致された日本人のうち、日本に帰国できたのは 5 人ととどまっています。

5 名以外の拉致被害者についても、政府は、その速やかな帰国を、北朝鮮に対して強く要求しています。

Q2 なぜ北朝鮮は日本人を拉致したのですか？

A2 真相はわかりませんが、これについては、次のような説明があります。韓国を社会主義化して朝鮮半島を統一しようとしてきた北朝鮮は、当時、韓国人をよそおって北朝鮮から韓国にスパイを送り込むことは難しかったので、日本人をよそおって韓国にスパイを送り込むという方法が考えられました。そこで、日本人を北朝鮮に連れ去った上で、北朝鮮のスパイをその日本人になりすませたり、その日本人を北朝鮮のスパイに日本の習慣や日本語を教える先生にしたりしようとして、日本人を拉致したというのです。

Q3 日本には、拉致被害者は何人いるのですか？

A3 政府が、北朝鮮による拉致被害者として認めたのは 17 名です。このうち 5 名は、帰国をすることができましたが、残りの 12 名については帰国できていないままです。また、朝鮮籍の幼児 2 名が日本国内で拉致されたことも明らかになっています。このほかにも、拉致の可能性が否定できない人もたくさんいて（2018 年 10 月 1 日現在 883 名）、政府は、認めたかどうかにかかわらず全ての拉致被害者を少しでも早く帰国させるように、強く求めています。

Q4 どうなれば、拉致問題が解決したと言えるのですか？

A4 拉致問題の解決には、以下の三つを実現する必要があります。

- ①全ての拉致被害者の安全を守り、すぐに帰国させること。
- ②北朝鮮が、拉致被害者の真相を明らかにすること。
- ③北朝鮮が、拉致を実行した者を日本に引き渡すこと。



内閣府拉致問題対策本部ホームページより

(※) 日本は、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）を国家として認めていないため、北朝鮮政府を「北朝鮮当局」と表現しています。

「人権学習ワークシート集Ⅶ－人権教育実践事例・指導の手引き（高校編第16集）－」

神奈川県教育委員会（平成31年2月）

アニメ「めぐみ」 より



- ①1977年11月15日19:00すぎ
 早紀江 お父さん！
 滋 まだ帰ってないのか？
 滋 よし！その辺りを探してくる！



- ②滋（モノローグ）
 その日13年前に私の願った ほんの小さな望み 家族みんなで幸せに暮らすという夢は砕け散ったのです。めぐみは北朝鮮の工作船に乗せられ、拉致されていたのです。



- 1987年11月29日大韓航空機爆破事件
 ③滋（モノローグ）
 容疑者「金賢姫」の証言で「李恩恵」という日本人女性が関わっていることが明らかになり、北朝鮮が日本人を拉致している事実が判明したのです。



- 1997年1月21日
 ④滋（モノローグ）
 え！めぐみが北朝鮮で生きている…他にも北朝鮮に拉致されている人たちがいることを知りました。拉致された人たちを救い出すための活動を始めたのです。でもその道は辛くとても厳しいものでした。



- ⑤早紀江 私たちは今から20年前に北朝鮮に拉致された横田めぐみの親です。私たちは北朝鮮に住む一般市民の人たちを憎んだり恨んだりしている訳ではありません。
 早紀江 ただ親として今も北朝鮮に囚われの身となっている娘を助け出したいだけなのです！



- ⑥滋（モノローグ）
 2002年9月17日、その日訪朝した小泉首相との第1回日朝首脳会談において北朝鮮の金正日国防委員長は長年否定していた日本人拉致を初めて認めて謝罪したのです。が、その内容は5人生存、8人死亡、2人は北朝鮮に入っていないというものでした。
 その後、鑑定の結果、めぐみの遺骨として北朝鮮から提出された骨の一部から、めぐみのものとは異なるDNAが検出されました。